

『高等学校芸術科美術』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年4月 23 日 第3校時(50 分)

(2) 場 所 美術室

(3) 学年・学級 第1学年1組(25 名)

使用教科書 高校生の美術1(日本文教出版)

(4) 題 材 名 「身近なものを描く」

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

・鉛筆による手のデッサンを行い、生徒はよく観察して描くことを学んでいる。

【単元のねらい】

・身近なものを見つめ、感じ取ったよさや美しさをどのようにあらわしたいかを考えて、材料や用具を工夫して描く。

・身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。

【児童(生徒)の状況】

・美術の学習に対して意欲があり、熱心に取り組む生徒が多い反面、少数ではあるが、表現に対して苦手意識をもっている生徒もいる。

・生徒同士の人間関係がよく、話し合い活動などは活発に行うことができる。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次	・自分の日常生活の中で大切にしているもの、愛着を感じているものを見つける。【教科書 P6～9】 ・今回のモチーフ(描く対象)の準備について伝える。	一斉 個別 グループなど	知識
第2次	・スケッチを行い、対象から形や色のよさや美しさを感じ取り、発想・構想する。 ・下絵を描き、着色する。	個別	思考・判断・表現 知識・技能
第3次	・制作途中の作品の相互鑑賞【教科書 P6～9】 ・作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る。 ・表したい気持ちを伝えるための表現を工夫する。	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現 知識・技能
第4次	・着色する。 ・表したい気持ちを伝えるために、用具や技法を工夫し表現する。	個別	知識・技能
第5次	・仕上がった作品の相互鑑賞 ・作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。